

あしすとばあく



第40号



こおりやまの市民活動団体の新春企画！

こおりやま市民活動団体賀詞交歓会 2016

第40号 目次

- 表紙 こおりやま市民活動団体交歓会 2016
- 2P 郡山市の団体紹介①
こおりやま日本語教室
- 3P 郡山市の団体紹介②
NPO法人ASUNA
- 4P こおりやま市民活動団体交歓会 2016
開催報告①
- 5P こおりやま市民活動団体交歓会 2016
開催報告②
- 6P 郡山市の団体紹介③
地域サロン まるわ
- 7P 郡山市縁結び事業・縁結びバンク
ワンポイントファンドレイジング memo
- 8P 助成金情報、市民活動応援講座開催報告
編集後記

第40号では、1月30日(土)に60名の参加者で賑やかに開催しました「こおりやま市民活動団体賀詞交歓会 2016」をご紹介します。郡山市との「協働」事例発表(2団体)など昨年から更に充実した内容となりました。(4P-5P)



団体紹介コーナーでは、外国にルーツを持つ子供たちへ日本語の学習支援をされているこおりやま日本語教室さん(2P)



子どもの学習から大人の生涯教育支援を手掛けるNPO法人ASUNAさん(3P)

地域サロンとして高齢者の生きがい作り支援活動に取り組むまるわさん(6P)以上3つの団体をご紹介します。



こおりやま日本語教室

外国にルーツを持つ児童生徒を対象とした学習支援活動



こおりやま日本語教室 代表 三田眞理子さん

アシストパーク郡山（以下、「センター」）

本日は、こおりやま日本語教室 代表 三田眞理子さんにお話を聞かせていただきます。

三田さん 2013年5月に外国にルーツを持つ児童生徒を対象とした「こおりやま日本語教室」を立ち上げました。

東北地方は、6県すべてが外国人居住者（登録者）の「散在地域」に区分されています。

県内の多くの市町村では、外国にルーツを持つ児童生徒に対する地域の教育機関入学時の初期支援プログラムとして、最低規定のわずか8時間しか整備されていません。



三田さん 散在していることで、サポートが受けられず日本語がわからないことで孤立しがちになります。

個々の子どもたちの言葉や就学にかかる不安を少しでも解消するために、日本語の学習支援と居場所づくりの両方を目的として会を立ち上げました。

センター 非常に重要な活動ですね。運営はどのようにされているのですか。

三田さん 郡山市、田村市、矢吹町など近隣地区在住の約30名の学習ボランティア会員が、子どもたちの参加人数などに応じて交代で活動しています。参加児童は、会場となる郡山市子ども総合支援センター（ニコニコこども館）3階の教室まで、送迎や自分達で集い参加費用として1,000円（5回分）をいただき、教室時のイベントやお菓子などの購入費用にあてています。

福島県内の外国にルーツを持つ子どもたちが、集える場として年1回多文化キッズキャンプ福島を実施しています。昨年は、6月に福島市の団体主催で総勢58名のイベントとなりました。福島大学から学生ボランティアのサポートもあり、子ども達はもちろんですが、参加者全員が楽しめました。



学習ボランティア会員の皆さん

センター 今後の活動について教えてください。

三田さん 県内でも散在地域でありながら初期支援のプログラムとして50時間の設定をしている地域もあり、各地域の日本語教室の団体と連携した活動も更に重要となっていきます。また、会員の技術研鑽を目的として、全国の日本語学習の機関や団体と連携し、ボランティア研修会を開催し更に研鑽して参ります。

センター 本日は、ありがとうございました。皆さんの活動を応援しています。今後ともよろしくお願ひします。



吟味されたテキストや教材



<https://www.facebook.com/koriyama.nihongo>（「こおりやま日本語教室」で検索）

NPO法人ASUNA

幅広い年齢層に対応した能力開発や生涯学習への支援活動



NPO 法人 ASUNA 理事長 蓮沼武俊さん

アシストパーク郡山（以下、「センター」）

NPO 法人 ASUNA 理事長の蓮沼武俊さんにお話を聞かせていただきます。団体設立の経緯などお聞かせ願いますでしょうか。

蓮沼さん 平成 26 年 7 月に設立しました。私の経験から学習塾や成人の生涯教育分野の業界において、営利事業で実施されるサービスの提供時に、見過ごされている部分がありました。

それらをもちろん否定するわけではないのですが、その漏れている分のサービスを組み付けながら、小規模でもいいから、地域の学習支援サービスとして実現できないかと考え始めました。

蓮沼さん 具体的な例で説明すると、特許翻訳というコアな就業市場があるのですが、確かに報酬は高額で仕事が今後も増えていく期待の分野なので就業希望者も一定数存在します。

養成学校などでは、ハードなカリキュラムにより脱落者が多い現実があります。学校に入学した途端、切り立った断崖絶壁の崖を登る様な内容と言えわかり易いでしょうか。

就業支援と言う視点に立って、希望者に対してまずは、基礎の基礎から学び、翻訳関係のベースを作り上げるメニューの実施で、翻訳の専門学校や翻訳の通信教育を受ける前段階をサポートできるものです。一つの例ですが、こうした教育分野での支援事業が出来ればと考えています。



こおりやま市民活動交流フェスタ

テーブルマジックで子どもたちを楽しませる蓮沼さん

センター とてもわかり易い説明をありがとうございます。児童・生徒向けの学習支援でも必要とされる視点ですね。

蓮沼さん 近年、大手の学習塾が各地にできたことで昔からあった地域の学習塾や新規立ち上げの小規模の塾は、継続することが難しい状況になっています。

保護者・学校・地域などNPOの視点で運営でき、またそのようなサービスを求めている方々と小規模でも持続可能なモデルを目指しています。事業を継続しながらそのための人やサービスと連携し、発展させて行きたいと考えています。

センター 今後の活動について教えていただけますか。

蓮沼さん 今年度は、公益信託うつくしま基金の助成に合格しまして、高齢者の方々に向けての健康学習プログラムや児童などの交流促進を目的とした「教える為の大人の学習プログラム&高齢者学習プログラム」を実施する予定です。私たちにも大きな刺激となると思いますので楽しい活動の一つとなります。

私たちのリソースは、教育支援の分野に特化しています。この視点で地域課題の解決やより豊かな人間関係の構築へ寄与できることがまだまだあると思います。一步一步活動していきながら、それぞれの専門分野で活躍される方々や団体との連携などを強化していきながら、事業を進めていきたいと考えています。

センター 楽しい活動です。本日はありがとうございました。



<http://www.sakurasakunitiyoub.wix.com/npo-asna> (「NPO 法人 ASUNA」で検索)

賀詞交歓会開催報告①

開催報告

『こおりやま市民活動団体賀詞交歓会2016』

2016年1月30日(土) 17:30 開始 会場：ホテルプリシード郡山 芙蓉の間



今回で2度目の実施となるこおりやま市民活動団体賀詞交歓会2016には、市民活動団体、NPO、行政、教育機関、民間企業などの関係者60名が一堂に会しました。

震災から5年を迎えた福島県で、市民活動を盛り上げるために協力し活動することを誓いました。

参加者の皆さん自らが、口火を切って名刺交換・交流で大いに盛り上がりました。



協働事例発表



郡山市との協働を行った2団体の事例発表が行われました。NPO法人ウィメンズスペースふくしまの苅米照子理事長からは、郡山市市民協働政策提案制度に申請し、郡山市市民部男女共同参画課との協働事業として男女共同参画社会推進に向けた全3回の「セミナー」「ワークショップ」を実施した事例の発表がありました。

NPO法人ほほえみの間の阿部多加子理事長は、郡山市市民部市民・NPO活動推進課が実施する「みんなのまちかどギャラリー支援制度」を利用して展示場所を新たに開設し、地域住民との交流拠点として活用している事例紹介がありました。

賀詞交歓会開催報告②



『集う』 『伝える』 『繋がる』



協働の息吹

今回で2回目となるこおりやま市民活動団体賀詞交歓会 2016 は、市民活動団体、NPO、行政、教育機関、民間企業などの様々なステークホルダーが、地域課題の解決に取り組むために集い、交流を深めるための大切な機会となっています。

この場に集う皆さんからは、積極的で楽しい空気を感じることが出来ます。顔を合わせて対話し、互いを理解し合うことでそれぞれの強みと弱みを補い合える関係づくりが協働の最初の一步であり、真摯に関係づくりを進めていく姿が印象的でした。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

地域サロン まるわ

コミュニティづくり、地域住民を対象としたサロン活動



地域サロンまるわ会長 柳沼喜美子さん

アシストパーク郡山（以下、「センター」）

地域サロンまるわ会長 柳沼喜美子さんにお話を伺います。本日は、イベント開催日にも関わらず取材を引き受けていただきありがとうございます。お話を伺わせてください。

柳沼さん 2008年12月に町内の有志のメンバーが集まりしめ縄づくりをきっかけとして、グループ名「花」を立ち上げました。2009年5月に活動場所として自宅裏で空家になっていた築40年以上の一軒家をコミュニティづくりの活動拠点として利用し、会の名称も「まるわ」に変更、丸い輪となって人が関わって良い社会づくりを目指す会として活動を開始しました。

センター まるわに集う皆さんはどのような方なのですか。

柳沼さん 会の運営メンバーと参加メンバーで構成されています。毎週、水曜日と金曜日の午前中に活動をしています。通常は、交流会として開催し、来られる方が自由におしゃべりしたりして楽しく過ごす地域のお茶の間として活動しています。

月に1度、季節や行事に絡めたイベントや教室を開催し、短い時間で達成感を得られるようなメニューを設定して皆さんで楽しく過ごしています。

1年に2回ほど実施するイベントでは、近隣、知り合いを通じて子どもを含めた30名ほどが集います。ゲームやそば打ちなどを体験して楽しめる多世代の交流会として実施しています。

センター まるわの活動は、非常に大切なものですね。今後の活動について、教えていただけますか。

柳沼さん 育児支援に関するボランティア活動などに参加させていただいたりしながら、交流の輪を広げています。

知り合った方々と情報交換したり、Facebookのアドバイスなどをいただいたり、大切なつながりができています。



お雛様作りの様子

柳沼さん 次年度の活動について会員と相談しているのは、他の組織等との連携を進めていきたいと考えています。

最初に郡山市で実施している「市政きらめき出前講座」で職員の方の講師派遣をお願いしてみたいと考えています。

私たちの活動を知っていただくための広報や他の団体との連携など進めたいと考えています。

センター 本日はありがとうございました。困ったことなどがあれば、アシストパーク郡山をお気軽にご活用ください。よろしくお願いいたします。

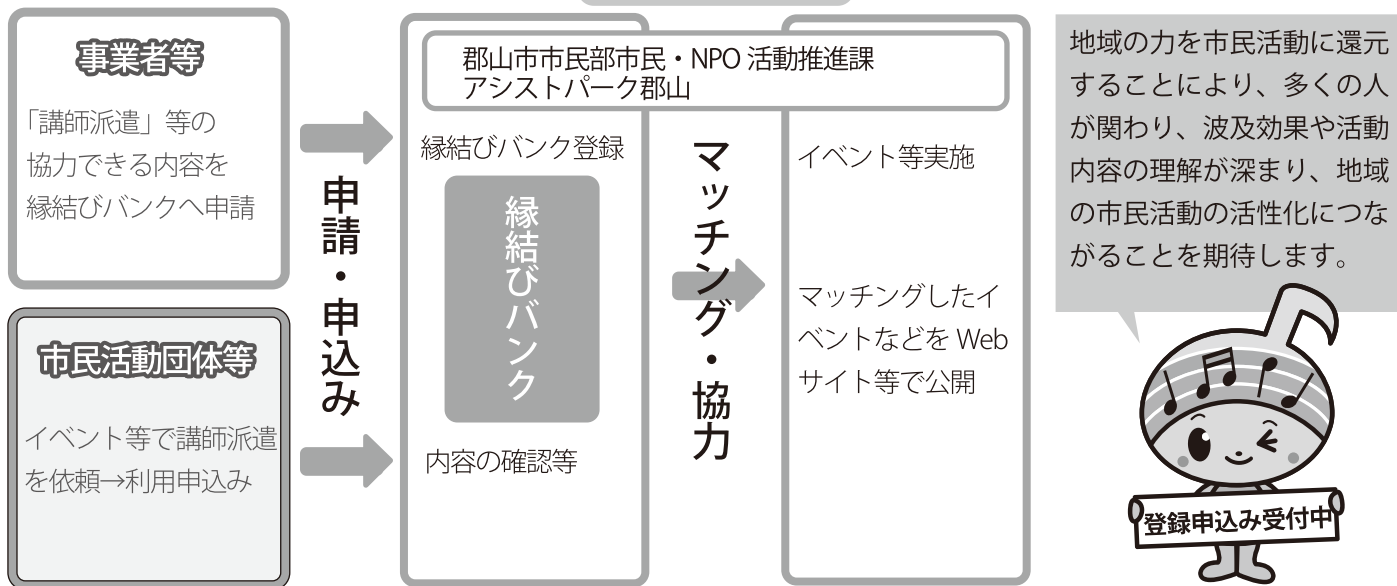


 <https://www.facebook.com/koriyama.maruwa> (Facebook内「まるわ」で検索)

郡山市協働のまちづくり縁結び事業・縁結びバンク登録団体紹介

郡山市協働のまちづくり縁結び事業は、「社会貢献・地域貢献をしたい」、「まちづくりに協力したい」という事業者や市民活動団体などと、まちづくり活動に取り組んでいる市民活動団体などのニーズを結びつけ、サポートする事業です。

縁結びの流れ



縁結びバンクで利用可能な内容

施設・スペースの貸与、人材の育成、社会科見学、インターンの受け入れ、ボランティアスタッフの派遣、市民向け講座等への講師の派遣、協働でのイベントの開催、道具・物品等の貸与、イベント開催時の景品提供、助成金の情報提供、情報発信等

縁結びバンク登録団体 (登録団体募集中!)

郡山ビューホテル株式会社 公益社団法人 郡山青年会議所 東北電力株式会社 郡山営業所
株式会社 Mot.Com もとみや 特定非営利活動法人 ウェブストーリー
東部ガス株式会社 福島支社 財団法人 民族衣装文化普及協会
特定非営利活動法人福島県子どもの教育支援サークル TOSS 郡山

詳しくは、アシストパーク郡山までお問合せください

ワンポイント
【ファンドレイジングmemo】



助成金の活用について

今回は、助成金の活用についてお伝えしてみます。ここで問題です。助成金獲得の目的として一番適切なものはどれですか？

1. 活動するために資金を必要とするから
2. 団体の活動の幅を広げるため
3. 支援者の獲得のため

ヒント (正解は8Pに記載)

新 NPO 法の施行で、NPO 法人は、認定を取得することにより、寄付者に税制優遇措置が付与されて寄付が集めやすくなりました。

事業内容により異なりますが、助成金を獲得し、一般市民の皆さんへイベントや講座・講演会を行うことは、自分達の活動の大切さを訴えるために支援者獲得へ有効な道筋となります。

ファンドレイジング memo は、今回で最終回となります。ありがとうございました。

募集中及び4月以降に公募となる主な助成金情報

助成事業名称	募集期間 / 締め切り	助成額上限
第28回 NHK 厚生文化事業団 地域福祉を支援する「わかば基金」	応募締切 3月31日(木) 必着	1 団体 100万円 リサイクルパソコン
2016年度(第14回) ドコモ市民活動団体への助成	応募締切 3月31日(木) 必着	1 団体 50～ 100万円
2016年全労済地域貢献助成事業	募集期間 3月23日(水) ～4月6日(水) 必着	1 団体 30万円
赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動サポート募金2」	募集期間 5月中～5月末(※1)	詳細未発表
公益信託うつくしま基金 第14回後期平成28年度助成	募集期間 5月末～6月末	1 団体 30万円

※1 詳細は、4月以降アシストパーク郡山のウェブでご確認ください。

市民活動応援講座開催報告

テーマ「ボランティア活動について」

第5回 2015年12月18日(金)

開催場所：ニコニコこども館3階
「ボランティア活動の事例紹介とディスカッション」
講師：南東北病院「紙ふうせん」
コーディネーター 都築 芳子氏



第6回 2016年2月16日(火)

開催場所：ニコニコこども館3階
「ボランティア活動のはじめの一步」
講師：一般社団法人幸齢社会プロジェクト
代表 水野 美代子氏



ワンポイント【ファンドレイジングmemo】 正解は、3です ○

編集
後記

今号で取材させていただきました「こおりやま日本語教室」さんでは、テキストを地元の本屋さんで必ず購入するようにしているのだそうです。書店では、お客様の利用ニーズを把握し書棚にコーナーが確保されるのだそうです。家族で来店し、手に取って選べることは大切なのですね。必要なサービスは、人の手で作り育てるという好例です。

震災から5年が過ぎようとしています。福島県で活動する団体のサポートも新たなステージに突入していきます。賀詞交歓会での皆さんの笑顔にお答えできるように、私たちも一緒に頑張って参ります。(H.M)

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

住所：〒963-8601
福島県郡山市朝日1丁目23番7号
郡山市役所西庁舎3F

電話/FAX：024(924)3352
ホームページ：http://assistparkkoriyama.net/
メールアドレス：ap@utsukushima-npo.jp

開館時間：8:30～17:15
休館日：土、日、(祝・祭日)

運営受託者：特定非営利活動法人
うつくしま NPO ネットワーク
住所：〒963-8835 福島県郡山市小原田2丁目19番19号
電話：024(953)6092 FAX：024(953)6093
ホームページ：http://www.utsukushima-npo.jp/